

警察本部庁舎個別施設計画

番 号	一般庁舎 001	策定年月	令和2年 11 月	最終更新	令和2年 11 月
施 設 名	警察本部庁舎			財産区分	行政財産
所 在 地	盛岡市内丸9番5			敷地面積	1,710.26 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	防火地域	用途地域	商業地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察法の規定に基づき設置される都道府県警察が、当該都道府県の区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び法令等に定める知事、岩手県公安委員会及び警察本部長の権限に属する事務を適正かつ効率的に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【施設概況】 1982年(S57)に建築した SRC 造地上 13 階地下3階の庁舎であり、警察本部内の 22 所属及び東北管区警察局岩手県情報通信部の4所属の庁舎として 552 名の職員が勤務している。</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	庁舎	
構 造	SRC 造	
階 数	地上13階 地下3階	
竣 工 年	西暦1982年2月	
建築 : 延床	846.83 m ²	13,143.36 m ²
主 な 設 備	<p>受変電設備 発電設備 警報設備 構内交換設備 その他の設備</p> <p>屋内型キュービクル式 屋内型:高圧・ガスタービン式、屋外型:低圧・ディーゼル式 自動火災報知設備P形 非常警報設備:非常ベル、非常放送 電子交換機 電気時計設備、構内放送設備、映像・音響装置、テレビ共同受信設備、監視カメラ設備、防犯・入退室管理設備</p> <p>EV設備 2基</p> <p>冷暖房設備 蒸気方式、局所冷房方式</p> <p>熱源設備 鋼製ボイラー、無圧式温水発生器、チリングユニット</p> <p>空調・放熱機器 放熱器:ファンコンベクター 空調機:ユニット型、パッケージ型</p> <p>換気設備 三種換気</p> <p>自動制御設備 中央式監視制御</p> <p>給水設備 高置水槽方式:FRP製 水源:公共水道</p> <p>排水設備 公共下水道</p> <p>給湯設備 中央式:無圧式温水発生器、局所式:ガス湯沸器</p> <p>ガス設備 都市ガス</p> <p>消火設備 屋内消火栓、連結送水管、スプリンクラー、連結散水、不活性ガス消火、粉末消火</p>	
状 利 用 況 用	所属・職員数 車両台数	26 所属、552 人 54 台
老 朽 化 の 状 況	劣化度調査	H30. 12 C判定箇所:屋上
	定期点検	H30. 12 給湯設備故障・不具合、電気操作盤、排気ファン、アンテナ腐食等
	修繕工事	外壁、計装設備、中央監視設備、EV 設備、非常用発電設備、冷房設備 ほか
	特記	
優 先 度	建物性能	高一
	劣化:年数	A B
	利用度	高
	1次評価	維持管理
	重要性	85:代替施設なし
	見通し	-5:現状維持
	2次評価	I (60 点以上)
総合判定	維持管理	優先度3
評 価 結 果	岩手県警察の運営上、必要不可欠な施設であり、他に代替の施設はなく、将来にわたり維持管理していく必要があり、建物の機能・性能を維持していく必要がある。	

2 対応方針

県下の警察業務を統括する行政庁舎として、また、災害発生時における対策拠点として使用することから、将来にわたりその機能・性能を維持する必要がある。
現庁舎は、建築後 35 年以上を経過し設備全般に劣化が目立っていることから、今後、計画的、予防的な保全により長寿命化に取り組む。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

標準的な修繕（更新）周期による建築後 20 年の修繕（更新）が未実施である上、令和 4 年度には建築後 40 年の修繕（更新）時期を迎えるが、更新経費の試算上、単年度で全ての対象を修繕（更新）することは困難であり、実情に応じた更新時期を設定するなど、財政負担の平準化に配慮しながら計画的に実施する。

- 屋上防水や外壁補修、給排水管の更生等、躯体の劣化に影響の大きい部位・部材を優先的に更新
- 受変電や消火設備等の安全性に関わる部位・部材を優先的に更新

(2) 対策の内容及び時期

(単位: 百万円)

区 分	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕				
計画更新	中央監視装置等 34	空調設備等 30	給水設備等 68	受変電設備 6	給排水管等 17

(3) 概算経費

155百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 -	国庫
計画更新費 155百万円	県債 116百万円
	一般財源 39百万円

自動車整備工場個別施設計画

番 号	一般庁舎 002	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	自動車整備工場			財産区分	行政財産
所在地	滝沢市砂込 390 番 40			敷地面積	17,685.08 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察諸活動に使用する車両の安全運行と機能・性能の維持を目的とした点検・整備を行う施設</p> <p>【施設概況】 2012 年(H24)農林水産部から所管替えを受けた旧 JA 学園敷地内に S 造平屋建の事務所兼工場、附属施設として洗車場を設置</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称		庁舎	
構造		S 造	
階数		地上1階 地下 階	
竣工年		西暦2012年9月	
建築 : 延床		640.44 m ²	632.52 m ²
主 な 設 備	受変電設備	屋外キュービクル、高圧	
	発電設備	屋内形:低圧、ディーゼル式、建築基準法・消防法に基づく防災負荷	
	電熱設備	屋上電気融雪	
	警報設備	自動火災報知設備P形 非常警報設備:非常ベル	
	その他の設備	構内放送設備、テレビ共同受信設備	
	冷暖房設備	局所暖房、局所冷房方式	
	空調・放熱機器	空調機:パッケージ形	
	換気設備	三種換気(排気扇)	
	自動制御設備	個別制御	
	給水設備	水道直結方式	
	排水設備	浄化槽	
給湯設備	局所式:灯油湯沸器		
消火設備	粉末消火		
状 況 用	入場台数	年間 約 2,200 台	
	職員数	6人	
老 朽 化 の 状 況	劣化度調査	H30. 7 B判定箇所 1箇所 C判定箇所なし	
	定期点検	H30. 7	
	修繕工事		
	特記		
優 先 度	建物性能	高	
	劣化:年数	A	A
	利用度	高	
	1次評価	維持管理	
	重要性	45:民間に類似サービス提供施設あり	
	見通し	-5:現状維持	
	2次評価	III (50 点~40 点)	
総合判定		維持管理	優先度5
評価結果		<p>県内各所属に配備している警察車両の法定・随時の点検・整備を行う施設として、重要度は高いが、民間へのアウトソーシングの検討余地があり、長寿命化対策の優先度は他の一般庁舎に比べ低くなる。</p>	

2 対応方針

建築後 10 年以下であり、目立った劣化は見られず、当面は、必要な小破修繕の実施等で対応し、建築後 20 年の定期更新時期に向け、長寿命化の詳細を検討する。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

法定点検、日常点検等で建物の状態を把握し、更新等が必要な部位・部材を選定の上、コストの縮減や財政負担の平準化に配慮しつつ、建築後 20 年の定期更新時期までに具体的な方針を決定する。

- 屋上防水や外壁補修、給排水管の更生等、躯体の劣化に影響の大きい部位・部材を優先的に更新
- 電気設備、消火設備等、安全に関わる部位・部材を優先的に更新

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)
一般修繕					
計画更新					

(3) 概算経費

一百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 —	国庫
計画更新費 —	県債
	一般財源

警察音楽隊訓練場個別施設計画

番 号	一般庁舎 003	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	警察音楽隊訓練場			財産区分	行政財産
所在地	滝沢市砂込 390 番 72			敷地面積	17,685.08 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察音楽隊の訓練場所及び楽器、資機材及び車両の保管場所の確保</p> <p>【施設概況】 旧 JA 学園敷地内に建設された鉄骨造の体育館を警察音楽隊の訓練場として使用、付属施設として 2012 年(H24)、車庫(S1)1棟を増設</p> <p>同一敷地内には、岩手県警察自動車整備工場施設が併設</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称		庁舎(旧体育館)	
構造		S 造	
階数		地上1階 地下 階	
竣工年		西暦1991年11月	
建築 : 延床		997.49 m ²	997.49 m ²
主な設備	受変電設備	キュービクル式	
	給水設備	水道直結方式	
	排水設備	浄化槽	
	給湯設備	局所式: ガス湯沸器	
	ガス設備	液化天然ガス	
	消火設備	粉末消火	
	状況利用	使用日数 音楽隊員数 配置車両	年間 約 160 日 26 人 2台
老朽化状況の	劣化度調査	H30. 7 B判定箇所2箇所、 C判定箇所2箇所: 困障、屋外階段	
	定期点検	H30. 7	
	修繕工事	給水設備 (H27)	
	特記		
優先度	建物性能	高	
	劣化:年数	A	A
	利用度	高	
	1次評価	維持管理	
	重要性	60:類似施設で代替可	
	見通し	-5:代替施設がないため現状を維持	
2次評価	II (60 点~50 点)		
総合判定	維持管理		優先度4
評価結果	用途廃止した鉄骨造の体育館を所管替取得したもので、代替施設が確保できれば、将来にわたり現在の建物を維持する必然性は低い。		

2 対応方針

当面は、安全性の確保と最低限の建物性能の維持に必要な修繕等で対応する。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

移転又は建替若しくは代替施設の利用を検討することから、長寿命化の対象としない。

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
一般修繕		日常点検による維持修繕			
計画更新					

(3) 概算経費

—百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 —	国庫
計画更新費 —	県債
	一般財源

航空隊庁舎個別施設計画

番 号	一般庁舎 004	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施 設 名	航空隊庁舎			財産区分	行政財産
所 在 地	花巻市葛第3地割 183 番1			敷地面積	—
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	未指定
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 岩手県警察組織規則(昭和 49 年公安委員会規則第2号)第9条及び第 11 条第8条の規定に基づき生活安全部地域課内に設置されている警察用航空機(ヘリコプター)の運用、管理をするために設置されている庁舎</p> <p>【施設概況】 1985 年(S60)5月及び 1986 年(S61)11 月、旧空港ターミナル施設北側の一部分を県土木部(空港管理事務所)から所管換えを受けて庁舎とし、1986 年(S61)11 月、庁舎隣接の空港敷地内にヘリ格納庫(S1)を設置</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	庁舎	
構 造	RC造	
階 数	地上1階 地下 階	
竣 工 年	西暦1963年10月	
建築 : 延床	405.00 m ²	438.00 m ²
主 な 設 備	構内交換設備 その他の設備 冷暖房設備 空調・放熱機器 換気設備 自動制御設備 給水設備 排水設備 給湯設備 ガス設備 消火設備	
	電子交換機 テレビ共同受信設備、防犯・入退室管理設備 局所暖房方式、局所冷房方式 空調機:パッケージ形 三種換気(排気扇) 個別制御 水道直結方式 公共下水道 ガス湯沸器 液化天然ガス 粉末消火	
状 利 用 状 況	職員数 配置車両 配置航空機	6人 1台 1機(小型ヘリ)
老 朽 化 の 状 況	劣化度調査	H30. 7 B判定箇所9箇所 C判定箇所5箇所:外壁、内部建具、内壁、天井
	定期点検	H30. 7
	修繕工事	
	特記	
優 先 度	建物性能	中
	劣化:年数	A C
	利用度	高
	1次評価	維持管理
	重要性	85:代替施設なし
	見通し	-5:現状維持
	2次評価	I (60 点以上)
総合判定	維持管理(移転建替までの当面)	優先度2
評 価 結 果	警察航空機の運用・管理上、必要不可欠な施設であるが、建物の老朽・狭隘化が著しく、また中型航空機への更新を予定しているが、現格納庫には格納できないことから、移転計画を進める必要がある。	

2 対応方針

移転建替を計画しており、当面は、安全性の確保と最低限の建物性能の維持に必要な修繕等
で対応する。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

移転建替を計画していることから、長寿命化の対象としない。

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕				
計画更新	移転新築設計 21		移転新築工事 533		

(3) 概算経費

554百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 ー	国庫
計画更新費 554百万円	県債 415百万円
	一般財源 139百万円

自動車運転免許試験場庁舎個別施設計画

番号	一般庁舎 005	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	自動車運転免許試験場庁舎			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市下田字仲平183番1			敷地面積	70,173.51 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 道路交通法に規定する岩手県公安委員会の権限に属する自動車及び原動機付自転車の運転免許に関する事務を行う行政庁舎</p> <p>【施設概況】 1960年(S35)、開拓農協外から買入取得した敷地内に RC 造地上5階地下1階建の庁舎、附属施設として車庫(S1、RC2)各1棟及び実技試験コースを設置したほか、1993年(H5)にバイク保管管理棟(S1)、1998年(H10)に車庫(S1)を増築</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称		庁舎	
構造		RC造	
階数		地上5階 地下1階	
竣工年		西暦1980年12月	
建築:延床		2,087.02 m ²	5,458.41 m ²
主 な 設 備	受変電設備	屋内形	
	発電設備	屋内形: 低圧、ディーゼル式、建築基準法・消防法に基づく防災負荷	
	警報設備	自動火災報知設備P形 非常警報設備: 非常ベル、非常放送	
	構内交換設備	VoIP システム	
	その他の設備	電気時計設備、構内放送設備、映像・音響装置、テレビ共同受信設備	
	EV設備	1基	
	冷暖房設備	局所暖房方式、局所冷房方式	
	空調・放熱機器	空調機: パッケージ形	
	換気設備	一種換気(熱交換型排気扇)	
	自動制御設備	中央監視制御	
	給水設備	高置水槽方式(公共水道、揚水ポンプ)、井戸(深井戸用水中ポンプ)	
	排水設備	浄化槽	
	給湯設備	局所式: 貯湯式電気温水器、ガス湯沸器	
ガス設備	液化天然ガス		
消火設備	屋内消火栓(消火ポンプユニット、消火用充水タンク、呼水槽)、粉末消火		
状 利 用 況	稼働日	年間 約 360 日	
	利用者数	年間 約 10,000 人	
	職員数	29 人	
	配置車両	25 台	
老 朽 化 況 の	劣化度調査	H30.7 B判定箇所 10 箇所、 C判定箇所8箇所: 囲障、屋外階段、外壁、内装、舗装等	
	定期点検	H30.7	
	修繕工事	風除室等(H27)、受電設備更新(H27)、重油地下タンク(H27)、自家発電装置(H30)	
	特記		
優 先 度	建物性能	高一	
	劣化:年数	A	B
	利用度	高	
	1次評価	維持管理	
	重要性	85: 代替施設なし	
	見通し	-5: 現状維持	
2次評価	I (60 点以上)		
総合判定		維持管理	優先度 3
評価結果		運転免許業務の遂行に必要な不可欠な施設であり、利用者の安全性と業務継続性確保のため、適切な保全を図り、長く建物の機能・性能を維持していく必要がある。	

2 対応方針

建築後 40 年を経過し、設備全般に劣化が目立っているが、当面は、利用者の安全と業務継続性確保のため必要な修繕等を実施しつつ、今後、長寿命化のため必要な改修計画を策定、実施、以後は、計画的な予防保全(更新等)等により長寿命化を図る。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

法定点検、日常点検等で建物の状態を把握し、更新等が必要な部位・部材を選定の上、コストの縮減や財政負担の平準化に配慮しつつ、次の方針で更新等を計画的に進める。

- 屋上防水や外壁補修、給排水管の更生等、躯体の劣化に影響の大きい部位・部材を優先的に更新
- 電気設備、消火設備等の安全に関わる部位・部材を優先的に更新

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)
一般修繕		日常点検による維持修繕			
計画更新					

(3) 概算経費

— 百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費	— 国庫
計画更新費	— 県債
	— 一般財源

県南運転免許センター庁舎個別施設計画

番 号	一般庁舎 006	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	県南運転免許センター庁舎			財産区分	行政財産
所在地	胆沢郡金ヶ崎町西根北荒巻 100 番2			敷地面積	31,071.75 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 道路交通法に規定する岩手県公安委員会の権限に属する自動車及び原動機付自転車の運転免許に関する事務に関し、主に県南地域に居住する住民を対象とした行政サービス向上を目的として設置している行政庁舎</p> <p>【施設概況】 1985年（S60）、民間から買入取得した敷地内にRC造地上2階建の庁舎、付属施設として車庫（S1）1棟を設置</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称		庁舎	
構造		RC造	
階数		地上2階 地下 一階	
竣工年		西暦1988年6月	
建築：延床		1,138.29 m ²	1,948.24 m ²
主 な 設 備	受変電設備 発電設備 警報設備 構内交換設備 その他の設備	屋内型キュービクル式 屋内型: 低圧、ディーゼル式、建築基準法・消防法に基づく防災負荷 自動火災報知設備P形 非常警報設備: 非常ベル VoIP システム 電気時計設備、構内放送設備、情報表示装置、映像・音響装置、テレビ共同受信設備、防犯・入退室管理設備	
	EV設備 冷暖房設備 空調・放熱機器 換気設備 自動制御設備 給水設備 排水設備 給湯設備 ガス設備 消火設備	1基 温水方式、局所暖房方式、局所冷房方式 空調機: ユニット形、パッケージ形、ファンコイルユニット 一種換気(熱交換型排気扇) 個別制御 加圧送水方式(自動給水ポンプユニット、ステンレス製受水槽)、水源: 公共水道 公共下水道 局所式: ガス湯沸器 液化天然ガス 粉末消火	
状 況 利 用	稼働日	年間 約 240 日	
	利用者数	年間 約 57,000 人	
	職員数	13 人	
	配置車両	1台	
老 朽 化 の 状 況	劣化度調査	H30. 7 B判定箇所 8箇所、 C判定箇所 16箇所: 囲障、外部建具、外壁、内壁の浮き等	
	定期点検	H30. 7	
	修繕工事	風除室等(H27)、受電設備更新(H27)、重油地下タンク(H27)、自家発電装置(H30)	
	特記		
優 先 度	建物性能	高	
	劣化:年数	A	A
	利用度	高	
	1次評価	維持管理	
	重要性	85: 代替施設なし	
	見通し	-5: 現状維持	
	2次評価	I (60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度 3
評価結果		行政サービスの向上を目的として設置している庁舎であり、利用者の安全性と業務継続性確保のため、適切な保全を図り、長く建物の機能・性能を維持していく必要がある。	

2 対応方針

建築後 30 年以上を経過し設備全般に劣化が目立っており、当面は、利用者の安全と業務継続性確保のため必要な改修・修繕等を実施し、長寿命化のために必要な大規模改修計画を策定、実施し、以後は、計画的な予防保全（更新等）等により長寿命化対策に取り組む。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

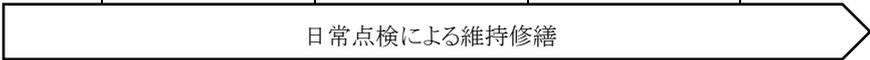
(1) 対策の方向性

法定点検、日常点検等で建物の状態を把握し、更新等が必要な部位・部材を選定の上、コストの縮減や財政負担の平準化に配慮しつつ、次の方針で更新等を計画的に進める。

- 屋上防水や外壁補修、給排水管の更生等、躯体の劣化に影響の大きい部位・部材を優先的に更新
- 電気設備、消火設備等の安全に関わる部位・部材を優先的に更新
- 学科試験、更新時講習等の実施に大きく影響する空調設備の更新を優先

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕 				
計画更新	内外壁(設計) 3	内外壁(工事) 30	受変電設備等 空調設備(設計) 7	受変電設備 空調設備 80	

(3) 概算経費

120百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 -	国庫
計画更新費 120百万円	県債 90百万円
	一般財源 30百万円

交通機動隊本隊庁舎個別施設計画

番 号	一般庁舎 007	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	交通機動隊庁舎			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市東仙北一丁目7番2			敷地面積	1,884.85 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	近隣商業地域及び第二種中高層住居専用地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 岩手県警察組織規則(昭和 49 年公安委員会規則第2号)第 19 条の規定に基づき交通部内に設置されている交通機動隊の運営・管理及び直轄隊の活動区域内の事象に対処するために設置されている庁舎</p> <p>【活動区域】 盛岡東警察署、盛岡西警察署、紫波警察署及び岩泉警察署の管轄区域</p> <p>【施設概況】 1971 年(S46)、民間から買入取得した敷地内に、RC造2階建の庁舎のほか、車庫(S1)、物置(S1)各1棟を設置 ※ 敷地内には駐車場兼用で白バイ走行訓練施設を設置</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称		庁舎	
構 造		RC造	
階 数		地上2階 地下 階	
竣 工 年		西暦1972年3月	
建築 : 延床		211.06 m ²	416.66 m ²
主 な 設 備	構内交換設備	VoIP システム	
	その他の設備	テレビ共同受信設備	
	冷暖房設備	局所暖房方式、局所冷房方式	
	空調・放熱機器	空調機:パッケージ形	
	換気設備	三種換気(排気扇)	
	自動制御設備	個別制御	
	給水設備	水道直結方式	
	排水設備	公共下水道	
	給湯設備	ガス湯沸器	
	ガス設備	液化天然ガス	
消火設備	粉末消火		
状 利 用	職員数	16 人	
	配置車両	四輪8台、二輪 22 台	
老 朽 化 の 状 況	劣化度調査	H30. 10 B判定箇所6箇所 C判定箇所1箇所:内壁、天井	
	定期点検	H30. 10	
	修繕工事		
	特記		
優 先 度	建物性能	高一	
	劣化:年数	A	B
	利用度	高	
	1次評価	維持管理	
	重要性	85:代替施設なし	
	見通し	-5:現状維持	
	2次評価	I (60 点以上)	
総合判定	維持管理(移転建替までの当面)		優先度3
評 価 結 果	<p>隊の運営上、必要不可欠な施設であるが、建物の老朽・狭隘化のほか、敷地内に十分な訓練スペースがとれない、浸水被害が度々発生、活動に支障を来すなど、今後、長期にわたり現施設を維持管理することは困難であり、別地への移転計画を進める必要がある。</p>		

2 対応方針

別途移転又は建替を検討することとし、当面は、安全性の確保と最低限の建物性能の維持に必要な修繕等に対応する。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

別途移転又は建替を検討することから、長寿命化の対象としない。

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕				
計画更新					

(3) 概算経費

概算経費内訳		財源内訳	
一般修繕費	—	国庫	
計画更新費	—	県債	
		一般財源	

交通機動隊県北分駐隊庁舎個別施設計画

番 号	一般庁舎 008	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	交通機動隊県北分駐隊			財産区分	行政財産
所在地	一戸町一戸字越田橋11番1			敷地面積	2,751.01 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	準工業地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 岩手県警察組織規則(昭和 49 年公安委員会規則第2号)第 19 条の規定に基づき交通部内に設置されている交通機動隊の所掌事務に関し、主に県北地域の事象に対処するために設置されている分駐隊の庁舎</p> <p>【活動区域】 岩手警察署、久慈警察署及び二戸警察署の管轄区域</p> <p>【施設概況】 一戸町から賃貸借している敷地内にCB造平屋建の庁舎、附属施設として車庫(S1)を設置 ※ 同一敷地内に隊員用の職員宿舎を併設</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	庁舎	
構造	CB造	
階数	地上1階 地下 階	
竣工年	西暦1970年10月	
建築 : 延床	87.48 m ²	87.48 m ²
主な設備	<p>冷暖房設備 局所暖房方式、局所冷房方式</p> <p>空調・放熱機器 空調機:パッケージ形</p> <p>換気設備 三種換気(排気扇)</p> <p>自動制御設備 個別制御</p> <p>給水設備 公共水道、水道直結方式</p> <p>排水設備 公共下水道</p> <p>給湯設備 ガス湯沸器</p> <p>ガス設備 液化天然ガス</p> <p>消火設備 粉末消火</p>	
状況用	隊員数	6人
	配備車両台数	四輪2台、二輪11台
の老朽化	劣化度調査	H30. 10 B判定箇所9箇所、 C判定箇所2箇所:外壁、外部建具
	定期点検	H30. 10
	修繕工事	
	特記	
優先度	建物性能	高一
	劣化:年数	A B
	利用度	高
	1次評価	維持管理
	重要性	85:代替施設なし
	見通し	-5:現状維持
	2次評価	I (60 点以上)
総合判定	維持管理(建替までの当面)	優先度3
	評価結果	隊の運営上、必要不可欠な施設であるが、構造的な耐久度、経年による劣化状況や設備の陳腐化から、現在の建物を長期間、維持管理すること困難であり、建替整備を要する。

2 対応方針

別途移転又は建替を検討することとし、当面は、安全性の確保と最低限の建物性能の維持に必要な修繕等に対応する。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

別途移転又は建替を検討することから、長寿命化の対象としない。

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕				
計画更新					

(3) 概算経費

概算経費内訳		財源内訳	
一般修繕費	—	国庫	
計画更新費	—	県債	
		一般財源	

機動隊庁舎個別施設計画

番 号	一般庁舎 009	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施 設 名	機動隊庁舎(県有部分)			財産区分	行政財産
所 在 地	滝沢市砂込389番12			敷地面積	18,269.747 m ²
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 岩手県警察本部組織規則(昭和 34 年岩手県公安委員会規則第2号)第 26 条の規定に基づき、警備実施における部隊活動、爆発物処理等を任務とする機動隊を運営するための行政庁舎及び訓練施設</p> <p>【施設概況】 平成21年3月、県有地である敷地内に新築整備した施設であり、庁舎棟のほか、宿舎・炊食棟、潜水訓練棟、道場棟、車庫棟(2棟)及びレンジャー訓練棟を配置している。</p> <p>国費の工事に県費を継ぎ足し整備したことから、当該負担相当分を県有財産として管理している。</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	庁舎(一部)	
構 造	RC造	
階 数	地上2階 地下 階	
竣 工 年	西暦2009年3月	
建築 : 延床	472.91 m ² (うち県有 99.64 m ²)	971.31 m ² (うち県有 142.80 m ²)
主 な 設 備	受変電設備 発電設備 電熱設備 静止形電源設備 警報設備 冷暖房設備 換気設備 給水設備 排水設備 給湯設備 ガス設備 消火設備 その他の設備	
	屋内形キュービクル式(変圧器:油圧、進相用コンデンサ:低圧、自動力率調整) ディーゼル(低圧) 電気融雪(屋上) MSE P形自動火災報知設備、非常ベル 局所暖房方式、局所冷房方式 三種換気(排気扇)、一種換気(熱交換型換気扇) 加圧送水式 公共下水道 局所式(ガス湯沸器) 液化天然ガス 粉末消火 電気時計、構内放送、監視カメラ、誘導支援、テレビ共聴、入退室管理	
状 況 用	職員数	35 名
	車両台数	四輪25台、二輪4台
老 朽 化 の 状 況	劣化度調査	H30. 7 B判定箇所3箇所 C判定箇所1箇所 屋上滞水
	定期点検	H30. 7
	修繕工事	
	特記	
優 先 度	建物性能	高
	劣化:年数	A
	利用度	高
	1次評価	現状維持
	重要性	85:現状維持
	見通し	-5:現状維持
	2次評価	I (60 点以上)
総合判定	維持管理	優先度3
評 価 結 果	機動隊の運営上必要な庁舎であり、災害時の警備実施の拠点施設として他に代替はなく、長く建物性能を維持していく必要がある。	

2 対応方針

安全性の確保と建物性能の維持に必要な整備費は、原則として国費で対応する。
 ただし、県有部分に係る維持修繕費は県費とする。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

法定点検、日常点検等で建物の状態を把握し、更新等が必要な部位・部材を選定の上、コストの縮減や財政負担の平準化に配慮しつつ、次の方針で更新等を計画的に進める。

- 屋上防水や外壁補修、給排水管の更生等、躯体の劣化に影響の大きい部位・部材を優先的に更新
- 電気設備、消火設備等の安全に関わる部位・部材を優先的に更新

※原則として国費整備

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
一般修繕	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; position: relative;"> 日常点検による維持修繕 ➤ </div>				
計画更新					

(3) 概算経費

—百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 —	国庫
計画更新費 —	県債
	一般財源

警察学校(体育館)個別施設計画

番 号	一般庁舎 010	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	警察学校体育館(アリーナ部分)			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市青山一丁目 17 番1号			敷地面積	24,728.57 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察学校での教養に必要な施設として、国有地である敷地内に国と合築整備</p> <p>【施設概況】 警察共済組合の不動産投資事業により昭和 63 年 3 月に建築、平成 10 年償還完了により所有権取得、財産区分として玄関、トレーニングルーム、更衣室、シャワー室、トイレ、手洗場部分は国有財産、アリーナ、ステージ等が県有財産</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称		庁舎(体育館)	
構造		鉄骨造	
階数		地上1階 地下 階	
竣工年		西暦1988年3月	
建築 : 延床		982.80 m ²	982.80 m ²
主 な 設 備	電力契約種別	従量電灯	
	換気設備	三種換気(排気扇)	
	給水設備	水道直結方式	
	排水設備	公共下水道	
	給湯設備	中央式(貯湯式電気温水器)	
	ガス設備	液化天然ガス	
	消火設備	粉末消火	
状況用	入校者数	年間延べ 約 700 人	
老 朽 化 の 状 況	劣化度調査	H30. 10 B判定箇所1箇所 C判定なし	
	定期点検	H30. 10	
	修繕工事		
	特記		
優 先 度	建物性能	高	
	劣化:年数	A	A
	利用度	高	
	1次評価	現状維持	
	重要性	85:代替施設なし	
	見通し	-5:現状維持	
	2次評価	I (60 点以上)	
総合判定	維持管理	優先度3	
評価結果	警察学校教養施設として必要不可欠であり、他の代替施設による運用が困難であることから、建物の機能・性能を維持していく必要がある。		

2 対応方針

国有部分の長寿命化に併せて、経年劣化の状態を確認しながら、効率的、効果的な予防保全を図る。
 なお、更新が必要となった際は、国費での整備を検討する。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

法定点検、日常点検等で建物の状態を把握し、更新等が必要な部位・部材を選定の上、コストの縮減や財政負担の平準化に配慮しつつ、次の方針で更新等を計画的に進める。

- 屋上防水や外壁補修等、躯体の劣化に影響の大きい部位・部材を優先的に更新
- 電気設備、消火設備等の安全に関わる部位・部材を優先的に更新

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
一般修繕	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; position: relative;"> 日常点検による維持修繕 } </div>				
計画更新					

(3) 概算経費

－百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 －	国庫
計画更新費 －	県債
	一般財源

盛岡東警察署庁舎個別施設計画

番号	一般庁舎 011	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	盛岡東警察署(警察本部分庁舎)			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市内丸62番8号			敷地面積	3,245.56 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	防火地域	用途地域	商業地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている盛岡東警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【管轄区域】 盛岡市のうち盛岡西警察署の管轄区域以外の区域</p> <p>【施設概況】 2002年(H14)、旧庁舎跡地(県有地)に建築したSRC造地上10階地下1階の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を設置 県内警察署唯一、屋上ヘリポート、女性専用留置場を設置しており、免震装置を備えた災害対応拠点であり、警察本部4所属(情報管理課、鑑識課、科学捜査研究所及び交通規制課)が入居</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	庁舎	
構造	SRC造	
階数	地上10階 地下1階	
竣工年	西暦2002年10月	
建築:延床	1,298.02 m ²	14,282.39 m ²
主な設備	<p>受変電設備 屋内型キュービクル式</p> <p>発電設備 屋外型、高圧、ガスタービン</p> <p>電熱設備 玄関ポーチ、屋上(ヘリポート)ほか</p> <p>静止型電源設備 蓄電池:MSE(長寿命) 用途:非常用照明、受変電制御 交流無停電電源装置</p> <p>警報設備 自動火災報知設備P形 非常警報設備:非常ベル、非常放送</p> <p>構内交換設備 電子交換機</p> <p>その他の設備 構内放送設備、映像・音響装置、誘導支援装置、テレビ共同受信設備、監視カメラ設備、防犯・入退室管理設備、電波障害防除装置(CATV)</p> <p>EV設備 3基</p> <p>冷暖房設備 冷温水方式(中央式冷暖房)、局所冷房方式</p> <p>熱源設備 真空式温水発生器、チリングユニット</p> <p>空調・放熱機器 空調機:ユニット型、パッケージ型、ファンコイルユニット</p> <p>換気設備 三種換気(廃棄扇)、一種換気(熱交換型扇風機)</p> <p>自動制御設備 中央式監視制御</p> <p>給水設備 高置水槽方式:FRP製、加圧送水方式 水源:公共水道</p> <p>排水設備 公共下水道</p> <p>給湯設備 中央式:真空式、暖房ボイラ兼用、局所式:貯湯式電気温水器</p> <p>ガス設備 都市ガス</p> <p>消火設備 屋内消火栓、連結送水管、泡消火、不活性ガス消火、粉末消火</p>	
状況利用	管内情勢	面積:844.05 km ² (R2.4.1) 人口:223,880人(R2.1.1)
	職員数	警察署:182人、本部:79人
	交番等設置数	交番11所、駐在所8所
	配置車両台数	44台
老朽化の状況	劣化度調査	H30.9 C判定箇所:なし
	定期点検	H30.12
	修繕工事	電気設備、ヘリポート、中央監視装置、非常用電源設備
	特記	
優先度	建物性能	高
	劣化:年数	A B
	利用度	高
	1次評価	維持管理
	重要性	85:代替施設なし
	見通し	-5:現状維持
	2次評価	I(60点以上)
総合判定	維持管理	優先度3
評価結果	法令により設置が義務付けられている施設であり、重要度が高く、建物性能も高いことから、経年劣化の状態等を確認しながら、効率的、効果的な予防保全を図り長寿命化を推進していく。	

2 対応方針

盛岡東警察署庁舎は、一警察署の機能に止まらず、県内全域の警察事象をカバーするとともに有事においては、警察本部のサブ機能を担う施設であり、定期的な設備更新・改修等予防保全を図り、長くその機能・性能を維持していく。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

所定の機能・性能を維持するための保全に取り組む。

令和4年度には、標準的周期である建築後20年の定期修繕（更新）時期を迎えるが、経費の試算上、単年度実施は困難であると見込まれることから、各部位・部材の状態に応じて更新時期を調整するなど経費の縮減と財政負担の平準化に配慮しつつ、以下の項目を重点とした保全を推進する。

- 屋上防水や外壁補修、給排水管の更生等、躯体の劣化に影響の大きい部位・部材を優先的に更新
- 電気、消火設備等の安全性に関わる部位・部材を優先的に更新

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕				
計画更新	受変電設備 1		空調設備 分解整備等 35	機械式 駐車装置等 9	中央監視装置等 150

(3) 概算経費

155百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 -	国庫
計画更新費 195百万円	県債 146百万円
	一般財源 49百万円

盛岡西警察署庁舎個別施設計画

番号	一般庁舎 012	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	盛岡西警察署庁舎			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市青山三丁目40番15号			敷地面積	4,300.93 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている盛岡西警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【管轄区域】 盛岡市のうち北上川の中心線、雫石川の中心線(延長線を含む。)及び盛岡市と滝沢市との境界線により囲まれた区域及び繋並びに滝沢市、雫石町</p> <p>【施設概況】 1986年(S61)盛岡市から土地交換により取得した敷地内に建築したRC造地上4階建の庁舎には、留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備し、付属施設として車庫兼倉庫2棟(RC2、S2)及び受水槽室(RC1)を設置</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	庁舎	
構造	RC造	
階数	地上4階 地下階	
竣工年	西暦1986年10月	
建築:延床	758.53 m ²	3,071.29 m ²
主な設備	<p>受変電設備 発電設備 警報設備 構内交換設備 その他の設備</p> <p>屋内型キュービクル式 屋外型、高圧、ディーゼル式 自動火災報知設備:副受信機 非常警報設備:非常ベル VoIPシステム 電気時計設備、構内放送設備、映像・音響装置、テレビ共同受信設備、監視カメラ設備</p> <p>EV設備 冷暖房設備 熱源設備 空調・放熱機器 換気設備 自動制御設備 給水設備 排水設備 給湯設備 ガス設備 消火設備</p> <p>1基 温水方式、局所暖房方式、局所冷房方式 真空式温水発生器 空調機:ユニット型 一種換気(熱交換型扇風機) 中央式監視制御 高置水槽方式:FRP製 水源:公共水道 公共下水道 中央式:真空式温水発生器、ガス湯沸器 都市ガス 屋内消火栓、連結送水管、粉末消火</p>	
状況利用	<p>管内情勢 職員数 交番等設置数 配置車両台数</p> <p>面積:833.70 km²(R2.4.1) 人口:137,423人(R2.1.1) 117人 交番5所、駐在所8所 27台</p>	
老朽化の状況	劣化度調査	H30.9 機能異常C判定箇所:擁壁、屋上、外壁、機械室漏水、排水設備、
	定期点検	H30.9
	修繕工事履歴	受電設備、外壁補修、非常用発電設備、屋上防水
	特記	R1.12 外壁タイル剥落
優先度	建物性能	高
	劣化:年数	A A
	利用度	高
	1次評価	維持管理
	重要性	85:代替施設なし
	見通し	-5:現状維持
2次評価	I (60点以上)	
総合判定	維持管理	優先度3
評価結果	<p>法令により設置が義務付けられている施設であり、重要度が高く、建物性能も高いことから、経年劣化の状態等を確認しながら、効率的、効果的な予防保全を図り長寿命化を推進する。</p>	

2 対応方針

盛岡西警察署は、管内の治安活動の拠点として、また、災害発生時の対策拠点として、将来にわたり、所定の機能・性能を維持していく。
現庁舎は、建築後 30 年以上を経過し全般に劣化が進行しており、当面、建物の機能・性能を所定の状態に戻すための事後保全に取り組む。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

標準的な建物の保全周期である建築後 20 年の定期更新（修繕等）を未実施のまま、令和 8 年度には、建築後 40 年の更新時期を迎えることとなるが、試算では単年度での実施は困難であり、コスト縮減と財政負担の平準化に配慮しつつ、下記の項目を優先して保全を図る。

- 屋上防水や外壁補修、給排水管の更生等、躯体の劣化に影響の大きい部位・部材を優先的に更新
- 電気、消火設備等の安全性に関わる部位・部材を優先的に更新

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕				
計画更新	外壁(設計) 2	外壁 47	屋上防水等 10		

(3) 概算経費

59百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 -	国庫
計画更新費 59百万円	県債 44百万円
	一般財源 15百万円

岩手警察署庁舎個別施設計画

番 号	一般庁舎 013	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	岩手警察署庁舎			財産区分	行政財産
所在地	岩手町大字五日市第 11 地割 53 番3			敷地面積	5,049.71 m ²
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている岩手警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【管轄区域】 八幡平市、岩手郡のうち葛巻町及び岩手町</p> <p>【施設概況】 1993年(H5)に岩手町から買入取得した敷地内に建築したRC造地上4階の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫兼倉庫(S2)、受水槽発電機室(S1)を設置</p> <p>1999年(H11)、岩手山噴火災害等対応のため、災害装備品倉庫(S1)を増築</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	庁舎	
構 造	RC 造	
階 数	地上4階 地下 階	
竣 工 年	西暦1995年11月	
建築 : 延床	578.22 m ²	2,126.13 m ²
主 な 設 備	受変電設備 発電設備 警報設備 構内交換設備 その他の設備	屋外型キュービクル式 屋外型、低圧、ディーゼル式 自動火災報知設備:P型 非常警報設備:非常放送、非常ベル VoIP システム 電気時計設備、映像・音響装置、誘導支援装置、テレビ共同受信設備、監視カメラ設備、防犯・入退室管理設備
	EV設備 冷暖房設備 熱源設備 空調・放熱機器 換気設備 自動制御設備 給水設備 排水設備 給湯設備 ガス設備 消火設備	1基 温水方式、局所暖房方式、局所冷房方式 真空式温水発生器 空調機:ファンコイルユニット 三種換気(排気扇) 個別制御 加圧送水方式:公共水道 自動給水ポンプユニット FRP製受水槽 浄化槽(汚水水中ポンプ) 局所式:ガス湯沸器(貯湯タンク、給湯用循環ポンプ) 液化石油ガス 粉末消火
状 況 利 用	管内情勢 職員数 交番等設置数 配置車両台数	面積:1,657.72 km ² (R2.4.1) 人口:44,430 人(R21.1) 48 人 交番1所、駐在所7所 14台
老 朽 化 の 状 況	劣化度調査	H30. 9 C判定箇所:防水層、屋上金物の腐食
	定期点検	H30. 9
	修繕工事履歴	トイレ等改修(H22)、ビル陰テレビ共聴設備(H24)
	特記	
優 先 度	建物性能	高
	劣化:年数	A
	利用度	高
	1次評価	維持管理
	重要性	85:代替施設なし
	見通し	-5:現状維持
	2次評価	I (60 点以上)
総合判定	維持管理	優先度3
評 価 結 果	法令により設置が義務付けられている施設であり、重要度が高く、建物性能も高いことから、経年劣化の状態等を確認しながら、効率的、効果的な予防保全を図り長寿命化を推進する。	

2 対応方針

岩手警察署は、管内の治安活動の拠点として、また、災害発生時の対策拠点として、将来にわたり、所定の機能・性能を維持していく。

建築後 20 年以上を経過しているが、建築後 20 年の定期更新（修繕等）を行っておらず、当面は劣化の著しい屋上防水設備等の保全を図り、今後、整備計画を具体化する。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

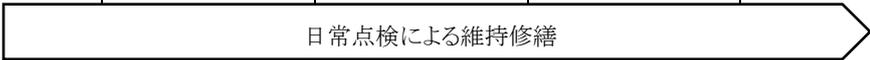
(1) 対策の方向性

未実施の定期更新項目を中心に施設の状態に応じ、以下項目を優先しつつ、コスト縮減と財政負担の平準化にも配慮し計画的に保全に取り組む。

- 屋上防水や外壁補修、給排水管の更生等、躯体の劣化に影響の大きい部位・部材を優先的に更新
- 電気、消火設備等の安全性に関わる部位・部材を優先的に更新

(2) 対策の内容及び時期

(単位: 百万円)

区 分	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕 				
計画更新				受変電設備 3	

(3) 概算経費

3百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 -	国庫
計画更新費 3百万円	県債 2百万円
	一般財源 1百万円

紫波警察署庁舎個別施設計画

番号	一般庁舎 014	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	紫波警察署庁舎			財産区分	行政財産
所在地	紫波町桜町字大坪51番2			敷地面積	5,728.94 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	建築基準法第22条区域	用途地域	第一種住居地域 準工業地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている紫波警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【管轄区域】 紫波郡(紫波町及び矢巾町)</p> <p>【施設概況】 1973年(S48)紫波町から買入取得した敷地内に建築したRC造地上2階建の庁舎には、留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属等として車庫棟(S造)、倉庫棟(W造)及びポンプ室(CB造)を設置 2000年(H12)、木造平屋建の分庁舎(交通課)を増築 ※ 同敷地内に署長公舎(W1、1975年築)及び職員宿舎(RC3、1975年築)を併設</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	庁舎	
構造	RC造	
階数	地上2階 地下階	
竣工年	西暦1974年3月	
建築:延床	624.46 m ²	1,048.00 m ²
主な設備	<p>電気供給種別 低圧電力</p> <p>発電設備 屋外型、低圧、ディーゼル式</p> <p>警報設備 自動火災報知設備:P型 非常警報設備:非常ベル</p> <p>構内交換設備 VoIPシステム</p> <p>その他の設備 電気時計設備、構内放送設備、映像・音響装置、テレビ共同受信設備</p> <p>冷暖房設備 温水方式、局所冷房方式</p> <p>熱源設備 氷蓄熱、無圧式温水発生器</p> <p>空調・放熱機器 空調機:ファンコイルユニット</p> <p>換気設備 三種換気(排気扇)</p> <p>自動制御設備 個別制御</p> <p>給水設備 FRP製高置水槽方式、揚水ポンプ 水源:公共水道</p> <p>排水設備 公共下水道</p> <p>給湯設備 中央式:暖房用ボイラーを兼用、循環ポンプ</p> <p>ガス設備 液化石油ガス</p> <p>消火設備 粉末消火</p>	
状況利用	<p>管内情勢 面積:306.30 km²(R2.4.1) 人口:60,491人(R2.1.1)</p> <p>職員数 49人</p> <p>交番等設置数 交番1所、駐在所5所</p> <p>車両台数 15台</p>	
老朽化状況の	劣化度調査	H30.9 C判定箇所:擁壁、屋上、外壁、機械室漏水、排水設備、
	定期点検	H30.9
	修繕工事履歴	車庫・フェンス(H4)、庁舎内間仕切等(H5)、自動ドア設置(H5)、暖房設備(H5)、非常用発電設備(24)、重油地下タンク(H25)、屋上防水(H26)
	特記	
優先度	建物性能	高一
	劣化:年数	A B
	利用度	高
	1次評価	維持管理
	重要性	85:代替施設なし
	見通し	-5:現状維持
2次評価	I (60点以上)	
総合判定	維持管理(建替までの当面)	優先度3
評価結果	法令により設置が義務付けられている施設であり、将来にわたり県が維持管理すべき施設であるが、建物の性能(劣化状況、狭隘状況)や設備の陳腐化から長寿命化は困難であり、将来的に建替整備が必要である。	

2 対応方針

管内の治安活動の拠点として、また、災害発生時の対策拠点として、将来に渡り維持していく施設であるが、現庁舎は、建築後 45 年以上を経過し、全般に劣化・陳腐化が進行しているほか、狭隘化が顕著であり、長期継続使用は困難であることから、建替による整備を計画する。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

建替整備までの間は、劣化の状況に応じ下記事項を優先して、必要な維持補修・安全対策を講じる。

- 落下等が懸念される部位、部材の撤去及び応急補修
- 電気、ガス、消火設備等の安全に関わる部位・部材の保全

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕				
計画更新				新築設計等 67	新築設計等 209

(3) 概算経費

276百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 -	国庫
計画更新費 276百万円	県債 207百万円
	一般財源 69百万円

花巻警察署庁舎個別施設計画

番号	一般庁舎 015	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	花巻警察署庁舎			財産区分	行政財産
所在地	花巻市下小舟渡309番2			敷地面積	7,056.42 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	準工業地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 条例に基づき設置されている花巻警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【管轄区域】 花巻市</p> <p>【施設概況】 1995年（H7）民間から買入取得した敷地内に建築したRC造地上4階建の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫棟（S1）及びエネルギー棟（S1）を設置</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称		庁舎
構造		RC造
階数		地上4階 地下 階
竣工年		西暦1997年11月
建築：延床		794.85 m ² 2,760.02 m ²
主 な 設 備	受変電設備 発電設備 警報設備 構内交換設備 その他の設備	屋外型キュービクル式、高圧 屋内型、低圧、ディーゼル式、建築基準法・消防法に基づく防災負荷 自動火災報知設備:P型 非常警報設備:非常ベル VoIP システム 電気時計設備、拡声設備、映像・音響装置、誘導支援装置、テレビ共同受信設備、監視カメラ設備、防犯・入退室管理設備
	EV設備 冷暖房設備 熱源設備 空調・放熱機器 換気設備 自動制御設備 給水設備 排水設備 給湯設備 ガス設備 消火設備	1基 温水方式、冷温水方式(中央式冷暖房)、局所冷房方式 真空式温水発生機、直吸収冷温水機 パッケージ型、ファンコイルユニット 三種換気(排気扇) 個別制御 加圧送水方式:公共水道 自動給水ポンプユニット FRP製受水槽 公共下水道 中央式:真空式温水発生機(暖房兼用)、局所式:ガス湯沸器 液化石油ガス 屋内消火栓(消火ポンプユニット、消火用充水タンク、呼水槽)、粉末消火
状況利用	管内情勢 職員数 交番等設置数 車両台数	面積:908.39 km ² (R2.4.1) 人口:95,235 人(R2.1.1) 71 人 交番3所、駐在所 12 所、警備派出所1所 34 台
老朽化の状況	劣化度調査	H30. 7 C判定箇所:外部建具(雨水の浸水)
	定期点検	H30. 7
	修繕工事履歴	空調設備(H24)、給水設備(H27)、空調設備(H29)、受電設備(R1)
	特記	
優先度	建物性能	高
	劣化:年数	A A
	利用度	高
	1次評価	維持管理
	重要性	85:代替施設なし
	見通し	-5:現状維持
	2次評価	I (60 点以上)
総合判定	維持管理	優先度3
評価結果	法令により設置が義務付けられている施設であり、重要度が高く、建物性能も高いことから、経年劣化の状態等を確認しながら、効率的、効果的な予防保全を図り長寿命化を推進する。	

2 対応方針

管内の治安活動の拠点として、また、災害発生時の対策拠点として、将来にわたり、所定の機能・性能を維持していく。

建築後 20 年以上が経過しているが、これまで予防保全的な定期更新を行っておらず、外部建具の劣化による雨水の浸入が見られることから、今後は予防保全型の整備を図り、長寿命化対策に取り組む。

当面は、未実施となっている建築後 20 年の更新（修繕等）について必要な項目を選定する等の具体的な整備を計画する。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

予防保全的な計画的更新を基本としつつ、下記事項を重点にコスト縮減や財政負担の平準化に配慮しながら効率的、効果的な保全に取り組む。

- 屋上防水や外壁補修、給排水管の更生等、躯体の劣化に影響の大きい部位・部材を優先的に更新
- 電気、消火設備等の安全性に関わる部位・部材を優先的に更新

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕 				
計画更新					

(3) 概算経費

一百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 ー	国庫
計画更新費 ー	県債
	一般財源

北上警察署庁舎個別施設計画

番号	一般庁舎 016	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	北上警察署庁舎			財産区分	行政財産
所在地	北上市九年橋三丁目245番			敷地面積	6,880.94 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第二種住居地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている北上警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【管轄区域】 北上市及び和賀郡</p> <p>【施設概況】 1991年(H3)民間から買入取得した敷地内に建築したRC造地上4階建の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫(S1)、交通機材庫兼機械室(S1)及びゴミ集積所(S1)を設置</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	庁舎		
構造	RC造		
階数	地上4階 地下階		
竣工年	西暦1993年9月		
建築:延床	778.63 m ²	2,674.62 m ²	
主な設備	<p>受変電設備 発電設備 警報設備 構内交換設備 その他の設備 電波障害防除 EV設備 冷暖房設備 熱源設備 空調・放熱機器 換気設備 自動制御設備 給水設備 排水設備 給湯設備 ガス設備 消火設備</p> <p>屋外型キュービクル式(高圧) 屋内型、低圧、ディーゼル式(建築基準法・消防法に基づく防災負荷) 自動火災報知設備:P型 非常警報設備:非常放送、非常ベル 電子交換機(VoIP システム) 電気時計設備、拡声装置、映像・音響装置、誘導支援装置、テレビ共同受信設備、監視カメラ設備、防犯・入退室管理設備 CATV 常用1基 局所暖房方式、局所冷房方式 灯油配管 パネルヒーター、パッケージ型空調機 三種換気(排気扇) 個別制御 加圧送水方式:公共水道 自動給水ポンプユニット FRP製受水槽 公共下水道 局所式:真空式温水発生器(貯湯タンク、給湯用循環ポンプ)、ガス給湯器 液化石油ガス 屋内消火栓(消火ポンプユニット、消火用充水タンク、呼水槽)、粉末消火</p>		
状況利用	管内情勢 職員数 交番等設置数 配備車両台数	面積:1,028.29 km ² (R2.4.1) 人口:98,083 人(R2.1.1) 75 人 交番2所、駐在所 12 所 18 台	
老朽化の状況	劣化度調査	H30.7実施 B判定 22箇所 C判定なし	
	定期点検	H30.7	
	修繕工事履歴	非常用発電設備(H28)	
	特記		
優先度	建物性能	高	
	劣化:年数	A	A
	利用度	高	
	1次評価	維持管理	
	重要性	85:代替施設なし	
	見通し	-5:現状維持	
	2次評価	I (60点以上)	
総合判定	維持管理	優先度3	
評価結果	法令により設置が義務付けられている施設であり、重要度が高く、建物性能も高いことから、経年劣化の状態等を確認しながら、効率的、効果的な予防保全を図り長寿命化を推進する。		

2 対応方針

管内の治安活動の拠点として、また、災害発生時の対策拠点として、将来にわたり、所定の機能・性能を維持していく。

建築から20年以上が経過しているが、これまで予防保全的な定期更新を行っておらず、屋上防水の浮きや外壁のひび等のほか、内装の汚れ、衛生器具、空調設備の劣化等が目につくようになっており、今後は予防保全型の整備を図り、長寿命化対策に取り組む。

当面は、未実施となっている建築後20年の更新（修繕等）について必要な項目を選定する等の具体的な整備を計画する。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

未実施となっている建築後20年の定期修繕（更新）については、今後、修繕内容や工法等の具体的な検討を進め、コスト縮減と財政負担の平準化に配慮しながら実施時期を調整する。

- 屋上防水や外壁補修、給排水管の更生等、躯体の劣化に影響の大きい部位・部材を優先的に更新
- 電気、消火設備等の安全性に関わる部位・部材を優先的に更新

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
一般修繕		日常点検による維持修繕			
計画更新			受変電設備 6		

(3) 概算経費

6百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 -	国庫
計画更新費 6百万円	県債 4百万円
	一般財源 2百万円

奥州警察署庁舎個別施設計画

番 号	一般庁舎 017	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施 設 名	奥州警察署庁舎			財産区分	行政財産
所 在 地	奥州市水沢真城字北塩加羅 37 番3			敷地面積	6,389.61 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	準工業地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている奥州警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【管轄区域】 奥州市及び胆沢郡</p> <p>【施設概況】 1978年(S53)に旧水沢市土地開発公社から買入取得した敷地内に建築したRC造地上4階の庁舎には、留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫(RC1)、車庫兼倉庫(RC2)及び受水槽室(RC1)を設置 機動捜査隊県南分駐隊の設置に伴い、2000年(H12)S造平屋建の車庫を増築</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	庁舎	
構 造	RC造	
階 数	地上4階 地下 階	
竣 工 年	西暦1983年10月	
建築 : 延床	714.59 m ²	2,903.75 m ²
主 な 設 備	<p>受変電設備 発電設備 警報設備 構内交換設備 その他の設備</p> <p>屋外型キュービクル式 屋外型、高圧、ディーゼル式 自動火災報知設備:P型 非常警報設備:非常放送、非常ベル VoIPシステム 電気時計設備、拡声装置、映像・音響装置、誘導支援装置、テレビ共同受信設備、監視カメラ設備、防犯・入退室管理設備</p> <p>EV設備 冷暖房設備 熱源設備 空調・放熱機器 換気設備 自動制御設備 給水設備 排水設備 給湯設備 ガス設備 消火設備</p> <p>1基 温水方式、局所暖房方式、局所冷房方式 無圧式温水発生器 空調機:ユニット式、パッケージ型、ファンコイルユニット 三種換気(排気扇) 個別制御 高置水槽方式:公共水道 揚水ポンプ FRP製高置水槽 公共下水道 中央式:暖房用ボイラー兼用(給湯用循環ポンプ)、ガス湯沸器 液化石油ガス 粉末消火</p>	
状 況 利 用	管内情勢 職員数 交番等設置数 配置車両台数	面積:1173.06 km ² (R2.4.1) 人口:131,704人(R2.1.1) 89人 交番5所、駐在所17所 22台
老 朽 化 の 状 況	劣化度調査	H30.7 C判定箇所:なし
	定期点検	H30.7
	修繕工事履歴	外壁等(H20)、空調設備(H24)、非常用発電設備(H26)、屋上防水(H27)
	特記	
優 先 度	建物性能	高
	劣化:年数	A
	利用度	高
	1次評価	維持管理
	重要性	85:代替施設なし
	見通し	-5:現状維持
	2次評価	I (60点以上)
総合判定	維持管理	優先度3
評 価 結 果	法令により設置が義務付けられている施設であり、重要度が高く、建物性能も高いことから、経年劣化の状態等を確認しながら、効率的、効果的な予防保全を図り長寿命化を推進する。	

2 対応方針

管内の治安活動の拠点として、また、災害発生時の対策拠点として、将来にわたり、所定の機能・性能を維持していく。

建築後 30 年以上を経過し、これまで外壁、屋上防水等の修繕を実施しているが、外部建具や衛生器具の劣化が目につくようになっており、今後は予防保全型の整備を図り、長寿命化対策に取り組む。

当面は、建築後 40 年の更新（修繕等）について必要な項目を選定し計画的に整備する。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

今後、修繕内容や工法等の具体的検討を進め、コスト縮減と財政負担の平準化に配慮しながら実施時期を調整する。

- 屋上防水や外壁補修、給排水管の更生等、躯体の劣化に影響の大きい部位・部材を優先的に更新
- 電気、消火設備等の安全性に関わる部位・部材を優先的に更新
- 適正な執務環境等の維持に影響の大きい空調設備の更新を優先

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕 				
計画更新			地下貯蔵タンク 空調設備(設計) 7	空調設備(工事) 32	

(3) 概算経費

39百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 -	国庫
計画更新費 39百万円	県債 29百万円
	一般財源 10百万円

一関警察署庁舎個別施設計画

番号	一般庁舎 018	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	一関警察署庁舎			財産区分	行政財産
所在地	一関市山目字三反田 30 番			敷地面積	4,536.68 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている一関警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【管轄区域】 一関市のうち千厩警察署の管轄区域以外及び西磐井郡</p> <p>【施設概況】 1977年(S52)に民間から買入等により取得した敷地内に建築したRC造地上4階建庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫兼倉庫(RC2)、受水槽室(RC1)及び機械室(RC1)を設置</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称		庁舎	
構造		RC造	
階数		地上4階 地下 階	
竣工年		西暦1978年9月	
建築 : 延床		618.63 m ²	2,515.07 m ²
主 な 設 備	受変電設備 発電設備 警報設備 構内交換設備 その他の設備	屋外型キュービクル式 屋外型、高圧、ディーゼル式 自動火災報知設備:P型 非常警報設備:非常放送、非常ベル VoIP システム 電気時計設備、拡声設備、映像・音響装置、テレビ共同受信設備、監視カメラ設備、防犯・入退室管理設備	
	EV設備 冷暖房設備 熱源設備 空調・放熱機器 換気設備 自動制御設備 給水設備 排水設備 給湯設備 ガス設備 消火設備	1基 温水方式、局所冷房方式 真空式温水発生器 空調機:パッケージ型、ファンコイルユニット 三種換気(排気扇) 個別制御 高置水槽方式:公共水道 揚水ポンプ FRP製受水槽 公共下水道 中央式:(機械室にボイラーを設置、給湯用循環ポンプ) 液化石油ガス 屋内消火栓(消火ポンプユニット、呼水槽)、粉末消火、	
状況利用	管内情勢 職員数 交番等設置数 配置車両台数	面積:600.45 km ² (R2.4.1) 人口:76,810人(R2.1.1) 71人 交番3所、駐在所10所 15台	
老朽化の状況	劣化度調査	H30.7実施 機能異常B:19箇所 C:6箇所(防水層、屋外建具、屋外階段、雨樋、排気口、トイレ換気扇)	
	定期点検	H30.7	
	修繕工事履歴	車庫棟屋上防水(H4)、暖房、給湯、給水他設備改修(H16)、外壁改修(H20)、非常用発電設備更新(H24)、震災復旧(H26)、受変電設備(H27)、空調設備(R1)	
	特記		
優先度	建物性能	高一	
	劣化:年数	A	B
	利用度	高	
	1次評価	維持管理	
	重要性	85:代替施設なし	
	見通し	-5:現状維持	
	2次評価	I (60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度3
評価結果		法令により設置が義務付けられている施設であり、重要度が高く、建物性能も高いことから、経年劣化の状態等を確認しながら、効率的、効果的な予防保全を図り長寿命化を推進する。	

2 対応方針

管内の治安活動の拠点として、また、災害発生時の対策拠点として、将来にわたり、所定の機能・性能を維持していく。

建築後 40 年以上が経過しており、これまでに外壁改修等の事後保全型の修繕等を実施してきたが、屋上防水の劣化等が目立ってきており、今後は予防保全型の更新整備を計画的に実施して長寿命化を図っていく。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

目標使用年数 100 年を見据え、部位・部材の劣化状況により優先の高いものから順次、更新（修繕等）を実施し、当面、築後 40 年の定期更新済の水準まで機能、性能を回復させる。

更新（改修等）に当たっては、実施内容や工法等を調整し、コスト縮減、財政負担の平準化にも配慮する。

- 屋上防水や外壁補修、給排水管の更生等、躯体の劣化に影響の大きい部位・部材を優先的に更新
- 電気、消火設備等の安全性に関わる部位・部材を優先的に更新

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕				
計画更新			屋上防水等 28	給排水管 100	

(3) 概算経費

128百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 -	国庫
計画更新費 128百万円	県債 96百万円
	一般財源 32百万円

千厩警察署庁舎個別施設計画

番号	一般庁舎 019	策定年月	令和2年 11 月	最終更新	令和2年11月
施設名	千厩警察署庁舎			財産区分	行政財産
所在地	一関市千厩町千厩字石堂 25 番1			敷地面積	4,359.54 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	近隣商業地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている千厩警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【管轄区域】 一関市のうち平成 17 年9月 19 日における東磐井郡の区域</p> <p>【施設概況】 1983 年(S58)旧東磐井郡千厩町から買入取得した敷地内に建築したRC造地上3階建の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫兼倉庫(RC1)、受水槽室(RC1)及び機械室(RC1)を設置</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	庁舎	
構造	RC造	
階数	地上3階 地下 階	
竣工年	西暦1984年9月	
建築：延床	574.07 m ²	1,768.03 m ²
主な設備	<p>受変電設備 発電設備 警報設備 構内交換設備 その他の設備</p> <p>屋外型キュービクル式高圧 屋内型、低圧、ディーゼル式 自動火災報知設備:P型 非常警報設備:非常ベル VoIP システム 電気時計設備、拡声設備、映像・音響装置、テレビ共同受信設備、監視カメラ設備、防犯・入退室管理設備</p> <p>EV設備 冷暖房設備 熱源設備 空調・放熱機器 換気設備 自動制御設備 給水設備 排水設備 給湯設備 ガス設備 消火設備</p> <p>なし 温水方式、局所冷房方式 無圧式温水発生器 パネルヒーター、空調機:ユニット型、パッケージ型、ファンコイルユニット 三種換気(排気扇) 個別制御 高置水槽方式:公共水道 揚水ポンプ FRP製受水槽 浄化槽(汚水水中ポンプ) 中央式(機械室にボイラー設置):無圧式温水発生機(給湯循環ポンプ)、ガス湯沸器 液化石油ガス 粉末消火</p>	
状況利用	<p>管内情勢 職員数 交番等設置数 配備車両台数</p> <p>面積:719.36 km²(R2.4.1) 人口:46,101 人(R2.1.1) 42 人 駐在所 15 所 12 台</p>	
老朽化状況	劣化度調査	H30. 7 B 判定9箇所、C判定5箇所(屋上防水、屋上金物、外灯の腐食等)
	定期点検	H30. 7
	修繕工事履歴	トイレ等改修(H22)、放送設備改修(H23)、非常用発電設備更新(H24)、空調機改修、更新(H27、H29)、屋上防水(R1)
	特記	
優先度	建物性能	高
	劣化:年数	A A
	利用度	高
	1次評価	維持管理
	重要性	85:代替施設なし
	見通し	-5:現状維持
	2次評価	I (60 点以上)
総合判定	維持管理	優先度3
評価結果	法令により設置が義務付けられている施設であり、重要度が高く、建物性能も高いことから、経年劣化の状態等を確認しながら、効率的、効果的な予防保全を図り長寿命化を推進する。	

2 対応方針

管内の治安活動の拠点として、また、災害発生時の対策拠点として、将来にわたり、所定の機能・性能を維持していく。

建築後 30 年以上が経過しており、これまでに事後的な設備や屋上防水の改修を実施してきたが、今後は予防保全型の更新整備を計画的に実施して長寿命化を図っていく。

また、エレベーター設備が設置されていないことから、ユニバーサルデザイン化を推進するため、長寿命化工事との平準化や同時施工による経費の削減に配慮し、整備の検討を進める。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

目標使用年数 100 年を見据え、部位・部材の劣化状況により優先の高いものから順次、更新（修繕等）を実施し、築後 40 年の定期更新済の水準まで機能、性能を回復させる。

更新（改修等）に当たっては、実施内容や工法等を調整し、コスト縮減、財政負担の平準化にも配慮する。

- 外壁補修、給排水管の更生等、躯体の劣化に影響の大きい部位・部材を優先的に更新
- 電気、消火設備等の安全性に関わる部位・部材を優先的に更新

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕				
計画更新		受変電設備 4		地下貯蔵タンク 3	

(3) 概算経費

7百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 -	国庫
計画更新費 7百万円	県債 5百万円
	一般財源 2百万円

大船渡警察署庁舎個別施設計画

番 号	一般庁舎 020	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	大船渡警察署庁舎			財産区分	行政財産
所在地	大船渡市盛町字下館下 14 番2			敷地面積	6,233.95 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	近隣商業地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている大船渡警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【管轄区域】 大船渡市、陸前高田市及び気仙郡</p> <p>【施設概況】 1981年(S56)に大船渡市開発公社等から買入等で取得した敷地内に建築したRC造地上4階建の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫兼倉庫(RC2)、受水槽室(RC1)及びガスボンベ庫(RC1)を設置</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称		庁舎	
構 造		RC 造	
階 数		地上4階 地下 階	
竣 工 年		西暦1982年8月	
建築 : 延床		643.90 m ²	2,395.59 m ²
主 な 設 備	受変電設備 発電設備 警報設備 構内交換設備 その他の設備	屋外型キュービクル式 屋外型、低圧、ディーゼル式 自動火災報知設備:P型 非常警報設備:非常放送、非常ベル VoIP システム 電気時計設備、映像・音響装置、誘導支援装置、テレビ共同受信設備、監視カメラ設備、防犯・入退室管理設備	
	EV設備 冷暖房設備 熱源設備 空調・放熱機器 換気設備 自動制御設備 給水設備 排水設備 給湯設備 ガス設備 消火設備	1基 温水方式、局所暖房方式、局所冷房方式 真空式温水発生器 空調機:ファンコイルユニット 三種換気(排気扇) 個別制御 加圧送水方式:公共水道 自動給水ポンプユニット FRP製受水槽 浄化槽(汚水水中ポンプ) 局所式:ガス湯沸器(貯湯タンク、給湯用循環ポンプ) 液化石油ガス 粉末消火	
状 況 利 用	管内情勢 職員数 交番等設置数 車両台数	面積:889.29 km ² (R2.4.1) 人口:60,104人(R2.1.1) 67人 交番2所、駐在所11所 19台	
老 朽 状 況 の	劣化度調査	H30. 7 B判定9箇所、C判定1箇所:非常用照明器具	
	定期点検	H30. 7	
	修繕工事履歴	ガス配管(H3)、屋上防水(H21)、非常用発電設備(H24)、給湯設備(H25)、天井(H26)、エアコン更新(H28)	
	特記		
優 先 度	建物性能	高	
	劣化:年数	A	A
	利用度	高	
	1次評価	維持管理	
	重要性	85:代替施設なし	
	見通し	-5:現状維持	
	2次評価	I (60点以上)	
総合判定	維持管理		優先度3
評 価 結 果	法令により設置が義務付けられている施設であり、重要度が高く、建物性能も高いことから、経年劣化の状態等を確認しながら、効率的、効果的な予防保全を図り長寿命化を推進する。		

2 対応方針

管内の治安活動の拠点として、また、災害発生時の対策拠点として、将来にわたり、所定の機能・性能を維持していく。

建築後 30 年以上が経過しており、これまで屋上防水改修等の事後保全型の修繕等を行ってきたが、未更新設備等の施設全般に劣化が目立っていることから、今後、計画的な更新を実施し、建物の機能・性能を所定の状態に戻す。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

次の方針により修繕項目や工法等の検討を進め、コスト縮減と財政負担の平準化に配慮しながら計画的整備を推進する。

- 屋上防水や外壁補修、給排水管の更生等、躯体の劣化に影響の大きい部位・部材を優先的に更新
- 電気、消火設備等の安全性に関わる部位・部材を優先的に更新

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕				
計画更新	受変電設備 4	地下貯蔵タンク 4			

(3) 概算経費

8百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 -	国庫
計画更新費 8百万円	県債 6百万円
	一般財源 2百万円

遠野警察署庁舎個別施設計画

番号	一般庁舎 021	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	遠野警察署庁舎			財産区分	行政財産
所在地	遠野市大榎町 248 番1			敷地面積	3,575.16 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種中高層住居専用地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている遠野警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【管轄区域】 遠野市</p> <p>【施設概況】 1975年(S50)、大蔵省からの買入等で取得した敷地内に建築したRC造地上2階の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫(S1)を設置</p> <p>2003年(H15)、2008年(H20)に物置(S1)、2015年(H27)に倉庫3棟(S1)を増築</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	庁舎	
構造	RC造	
階数	地上2階 地下階	
竣工年	西暦1976年7月	
建築:延床	723.75 m ²	1,174.75 m ²
主な設備	<p>電気供給 発電設備 警報設備 構内交換設備 その他の設備</p> <p>低圧引き込み 屋内型ディーゼル式 自動火災報知設備:P型 非常警報設備:非常放送、非常ベル VoIPシステム 電気時計設備、拡声装置、映像・音響装置、誘導支援装置、テレビ共同受信設備、監視カメラ設備、防犯・入退室管理設備</p> <p>冷暖房設備 熱源設備 空調・放熱機器 換気設備 自動制御設備 給水設備 排水設備 給湯設備 ガス設備 消火設備</p> <p>温水方式、局所暖房方式(FFストーブ)、局所冷房方式(エアコン) 氷蓄熱 ユニット形、パッケージ形 三種換気(排気扇) 個別制御 高置水槽方式:公共水道 揚水ポンプ 鋼製受水槽 浄化槽 局所式:ガス湯沸器 液化石油ガス 屋内消火栓(消火ポンプユニット)、粉末消火</p>	
状況利用	<p>管内情勢 職員数 交番等設置数 車両台数</p> <p>面積:825.97 km²(R2.4.1) 人口:26,555人(R2.1.1) 33人 交番1所、駐在所7所 10台</p>	
老朽化状況	劣化度調査	H30.7 B判定 12箇所、C判定箇所6箇所:ブロック塀・門、屋上防水、内壁亀裂、機械室漏水
	定期点検	H30.7
	修繕工事履歴	トイレ改修(H16)、防水等(H17)、電気設備(H17)、耐震調査(H18)
	特記	
優先度	建物性能	高一
	劣化:年数	A B
	利用度	高
	1次評価	維持管理
	重要性	85:代替施設なし
	見通し	-5:現状維持
2次評価	I (60点以上)	
総合判定	維持管理(建替までの当面)	優先度3
評価結果	法令により設置が義務付けられている施設であり、将来にわたり県が維持管理すべき施設であるが、建物の性能(劣化状況、狭隘状況)や設備の陳腐化から長寿命化は困難であり、将来的に建替整備が必要である。	

2 対応方針

管内の治安活動の拠点として、また、災害発生時の対策拠点として、将来に渡り維持していく施設であるが、建築後 40 年以上が経過し、全般に劣化が進行しているほか、狭隘化が顕著であり長期継続使用は困難であることから、建替による整備を計画する。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

建替整備までの間は、劣化の状況に応じ下記事項を優先して、必要な維持補修・安全対策を講じる。

- 落下等が懸念される部位、部材の撤去及び応急補修
- 電気、ガス及び消火設備等の安全に関わる部位・部材の保全

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕 				
計画更新					

(3) 概算経費

—百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 —	国庫
計画更新費 —	県債
	一般財源

釜石警察署等庁舎個別施設計画

番号	一般庁舎 022	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	釜石警察署、沿岸運転免許センター、交通機動隊沿岸分駐隊及び高速道路交通警察隊釜石分駐隊庁舎			財産区分	行政財産
所在地	釜石市中妻町三丁目1番			敷地面積	13,642.12 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	近隣商業地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察署の名称、位置及び管轄区域に関する警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている釜石警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【管轄区域】 釜石市及び上閉伊郡</p> <p>【施設概況】 2017年(H29)、釜石市及び新日鐵住金(株)から買入取得した敷地(旧昭和園グラウンド)内にRC造4階建の庁舎に警察署(留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備)、沿岸運転免許センター、交通機動隊沿岸分駐隊及び高速道路交通警察隊釜石分駐隊の各庁舎を一体整備、付属施設として車庫兼倉庫(S2)、ゴミ分別庫(S1)を配置</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	庁舎	
構造	RC造	
階数	地上4階 地下階	
竣工年	西暦2019年7月	
建築:延床	1,982.01 m ²	4,503.24 m ²
主な設備	受変電設備	屋内型キュービクル式
	発電設備	パッケージ式ディーゼル発電機(軽油:72時間)
	警報設備	自動火災報知設備:R型
	電熱設備	ペリメーターヒーター(1F けいさつプラザ)、床暖房(1F 免許センターホール)
	構内交換設備	VoIPシステム
	その他の設備	情報表示装置、映像・音響装置、拡声設備、テレビ共同受信設備、監視カメラ設備、入退室管理設備、防犯・非常警報設備
	EV設備	3基(警察署2、免許センター1)
	熱源設備	空気熱源ヒートポンプ、電気式(EHP)、ガス焚(GHP)
	空調・放熱機器	全熱交換器+空調熱源ヒートポンプマルチパッケージ方式
	換気設備	第一種換気方式(空調対象室)、第三種換気方式(トイレ、倉庫棟)
	自動制御設備	集中コントローラー、各室スイッチ
	給水設備	ステンレス製受水槽、加圧給水ポンプユニット
	排水設備	屋内分流方式(汚水、雑排水)
給湯設備	連結式ガスマルチ湯沸器+貯湯槽、電気貯湯式温水器(湯沸器、トイレ)	
ガス設備	都市ガス	
消火設備	屋内消火栓設備、粉末消火	
状況利用	管内情勢	面積:640.76 km ² (R2.4.1) 人口:44,640人(R2.1.1)
	職員数	71人(警察署:58人 交機隊:6人 高速隊7人)
	交番等設置数	交番3所、駐在所7所
	配備車両台数	24台(警察署17台 交機隊3台 高速隊4台) 8台(交機隊 二輪)
	免許センター	稼働日:年間 約240日 利用者数:年間 約20,000人
老朽化の状況	劣化度調査	—
	定期点検	—
	修繕工事履歴	—
	特記	
優先度	建物性能	高
	劣化:年数	A
	利用度	高
	1次評価	維持管理
	重要性	85:代替施設なし
	見通し	-5:現状維持
	2次評価	I (60点以上)
総合判定	維持管理	優先度3
評価結果	法令により設置が義務付けられている施設であり、重要度が高く、建物性能も高いことから、経年劣化の状態等を確認しながら、効率的、効果的な予防保全を図り長寿命化を推進する。	

2 対応方針

管内の治安活動の拠点として、また、災害発生時の対策拠点として、将来にわたり、所定の機能・性能を維持していく。

建築直後であり、当面は、点検・検査及び小破修繕により保全を図る。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

法定点検、日常点検等により、建物の状態を確認、把握し、定期更新時期には適切な更新等を確実に実施するなど予防保全型の保全を図り長寿命化を推進する。

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕 				
計画更新					

(3) 概算経費

—百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 —	国庫
計画更新費 —	県債
	一般財源

宮古警察署等庁舎個別施設計画

番号	一般庁舎 023	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	宮古警察署及び高速道路交通警察隊宮古分駐隊庁舎			財産区分	行政財産
所在地	宮古市松山第6地割4番1			敷地面積	12,843.24 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている宮古警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【管轄区域】 宮古市及び下閉伊郡のうち山田町</p> <p>【施設概況】 2014年(H26)民間から買入取得した敷地内に建築したRC造4階建の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備し、高速道路交通警察隊宮古分駐隊庁舎を一体整備、附属施設として車庫(S2)、ゴミ分別庫(RC1)を設置</p> <p>※ 同一敷地内に職員宿舎(RC3:18戸)を設置</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	庁舎		
構造	RC造		
階数	地上4階 地下階		
竣工年	西暦2017年12月		
建築:延床	1,173.48 m ²	3,204.89 m ²	
主な設備	<p>受変電設備 発電設備 警報設備 構内交換設備 その他の設備</p> <p>屋内型キュービクル式 屋内型、高圧、ディーゼル式、建築基準法・消防法に基づく防災負荷 自動火災報知設備:P型 非常警報設備:非常放送、非常ベル VoIPシステム 電気時計設備、拡声装置、映像・音響装置、誘導支援装置、テレビ共同受信設備、監視カメラ設備、防犯・入退室管理設備</p> <p>EV設備 冷暖房設備 熱源設備 空調・放熱機器 換気設備 自動制御設備 給水設備 排水設備 給湯設備 ガス設備 消火設備</p> <p>1基 冷温水方式(中央式冷暖房)、局所冷房方式 無圧式温水発生器、チリングユニット 空調機:ユニット形、パッケージ形 三種換気(排気扇) 中央監視制御 加圧送水方式:公共水道(一部雨水利用)、自動給水ポンプユニット 鋼製受水槽 浄化槽(汚水水中ポンプ、雑排水ポンプ) 中央式:暖房用ボイラを兼用(給湯用循環ポンプ)、局所式:貯湯式電気温水器 液化石油ガス 屋内消火栓(消火ポンプユニット)、粉末消火</p>		
状況利用	<p>管内情勢 職員数 交番等設置数 車両台数</p> <p>面積:1,521.96 km²(R2.4.1) 人口:67,074人(R2.1.1) 88人(警察署:75人 高速隊:13人) 交番2所、駐在所10所 22台(警察署:19台 高速隊:3台)</p>		
老朽化の状況	劣化度調査	H30.7 B・C判定箇所:なし	
	定期点検	H30.7	
	修繕工事履歴		
	特記		
優先度	建物性能	高	
	劣化:年数	A	A
	利用度	高	
	1次評価	維持管理	
	重要性	85:代替施設なし	
	見通し	-5:現状維持	
	2次評価	I (60点以上)	
総合判定	維持管理	優先度3	
評価結果	法令により設置が義務付けられている施設であり、重要度が高く、建物性能も高いことから、効率的、効果的な予防保全を図り長寿命化を推進する。		

2 対応方針

管内の治安活動の拠点として、また、災害発生時の対策拠点として、将来にわたり、所定の機能・性能を維持していく。
建築から間もなく、当面は、点検・検査及び小破修繕により保全を図る。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

法定点検、日常点検等により、建物の状態を確認、把握し、定期更新時期には適切な更新等を確実に実施するなど予防保全型の保全を図り長寿命化を推進する。

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕 				
計画更新					

(3) 概算経費

—百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 —	国庫
計画更新費 —	県債
	一般財源

岩泉警察署庁舎個別施設計画

番 号	一般庁舎 024	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施 設 名	岩泉警察署庁舎			財産区分	行政財産
所 在 地	岩泉町岩泉字太田18番地3			敷地面積	4,144.25 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている岩泉警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【管轄区域】 下閉伊郡のうち岩泉町、田野畑村</p> <p>【施設概況】 1995年(H7)、民間から買入取得した敷地内に建築したRC造地上4階建の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫兼倉庫(RC2)を設置</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	庁舎				
構 造	RC 造				
階 数	地上4階 地下 階				
竣 工 年	西暦1996年11月				
建築 : 延床	521.46 m ²		1,786.10 m ²		
主 な 設 備	受変電設備 発電設備 警報設備 構内交換設備 その他の設備 EV設備 冷暖房設備 熱源設備 空調・放熱機器 換気設備 自動制御設備 給水設備 排水設備 給湯設備 ガス設備 消火設備	屋外型キュービクル式 屋内型ディーゼル式、建築基準法・消防法に基づく防災負荷 自動火災報知設備:P型 非常警報設備:非常放送、非常ベル VoIP システム 電気時計設備、拡声装置、誘導支援装置、テレビ共同受信設備、監視カメラ設備、防犯・入退室管理設備 1基 局所暖房方式、局所冷房方式 真空式温水発生器 空調機:パッケージ形 三種換気(排気扇) 中央監視制御 加圧送水方式:公共水道 自動給水ポンプユニット ステンレス製受水槽 公共下水道 中央式;真空式温水発生機(貯湯タンク、給湯用循環ポンプ)、局所式:ガス湯沸器 液化石油ガス 粉末消火			
状 況 利 用	管内情勢 職員数 交番等設置数 車両台数	面積:1,148.55 km ² (R2.4.1) 人口:12,471 人(R2.1.1) 27 人 駐在所5所 9台			
老 朽 化 の 状 況	劣化度調査	H31. 1実施 B 判定箇所4箇所、C判定箇所:雨樋、床シート、玄関外灯			
	定期点検	H31. 1			
	修繕工事履歴	公共下水道接続(H15)、屋上防水(H28)、非常用発電設備(H28)			
	特記				
優 先 度	建物性能	高			
	劣化:年数	A	A		
	利用度	高			
	1次評価	維持管理			
	重要性	85:代替施設なし			
	見通し	-5:現状維持			
	2次評価	I (60 点以上)			
総合判定	維持管理		優先度3		
評 価 結 果	法令により設置が義務付けられている施設であり、重要度が高く、建物性能も高いことから、経年劣化の状態等を確認しながら、効率的、効果的な予防保全を図り長寿命化を推進する。				

2 対応方針

管内の治安活動の拠点として、また、災害発生時の対策拠点として、将来にわたり、所定の機能・性能を維持していく。

建築後 20 年以上が経過し、これまで屋上防水改修及び非常用発電設備の改修を実施しているが、当面は、未実施項目の状態を確認した上で必要な保全を計画的に実施する。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

未実施となっている建築後 20 年の定期修繕（更新）については、今後、修繕内容や工法等の具体的検討を進め、コスト縮減と財政負担の平準化に配慮しながら実施時期を調整する。

- 屋上防水や外壁補修、給排水管の更生等、躯体の劣化に影響の大きい部位・部材を優先的に更新
- 電気、消火設備等の安全性に関わる部位・部材を優先的に更新

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)
一般修繕		日常点検による維持修繕			
計画更新					

(3) 概算経費

概算経費内訳		財源内訳	
一般修繕費	—	国庫	
計画更新費	—	県債	
		一般財源	

久慈警察署・県北運転免許センター庁舎個別施設計画

No.	一般庁舎 025	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	久慈警察署及び県北運転免許センター			財産区分	行政財産
所在地	久慈市川崎町第2地割1番76			敷地面積	3,753.69 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	商業地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 条例に基づき設置されている久慈警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【管轄区域】 久慈市、下閉伊郡のうち普代村及び九戸郡のうち洋野町、野田村</p> <p>【施設概況】 1971年(S48)、久慈市より買入取得した敷地内に建築したRC造2階建ての庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、1994年(H6)、県北運転免許センター設置に伴い、警察署車庫を取り壊した上で1階が車庫、2階が免許センターの構造の庁舎(S2)を建築</p> <p>現庁舎は、老朽・狭隘化が著しく、必要な機能維持が困難となっているほか、2016年8月には大雨の影響で付近一帯が冠水、庁舎が床上浸水の被害を受けた。</p> <p>浸水被害による機能喪失を回避するため、平成30年度に久慈市門前第3地割地内に新庁舎移転用地を取得、令和2年度からの2か年計画で新庁舎を建設する計画である。</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	1:警察署庁舎		番号:名称	2:県北運転免許センター庁舎	
構造	RC造		構造	鉄骨造	
階数	地上2階 地下 階		階数	地上2階 地下 階	
竣工年	西暦1973年3月		竣工年	西暦1995年5月	
建築:延床	561.24 m ²	957.53 m ²	建築:延床	547.67 m ²	924.77 m ²
主な設備	自家発電設備:ディーゼル式 非常警報設備:自動火災報知器、非常ベル 構内交換設備:電子交換機 冷暖房設備:局所暖房方式、局所冷房方式 給水設備:高置水槽方式、公共水道 排水設備:公共下水道 給湯設備:ボイラー、貯湯式電気温水器 消火設備:屋内消火栓・粉末消火 EV設備:免許センター 1基 その他弱電設備:電気時計、構内放送、出退表示、テレビ共同受信				
利用状況	管内情勢	面積:1,076.88 m ² (R2.4.1) 人口:57,980人(R2.1.1)	利用状況	稼働日	年間 約240日
	職員数	43人(免許C兼務含まない。)		利用者数	年間 約15,000人
	交番等数	交番2所、駐在所12所		職員数	5人(久慈警察署交通課兼務)
	配置車両	15台		配置車両	なし
老朽化の状況	劣化度調査	H30.7 B判定:12 C判定:5	老朽化の状況	劣化度調査	警察署庁舎と一括
	定期点検	H30.7		定期点検	警察署庁舎と一括
	修繕工事	屋上防水、機械室浸水復旧、電灯設備、ガス設備		修繕工事	
	特記			特記	
優先度	建物性能	高一	優先度	建物性能	高
	劣化:年数	A B		劣化:年数	A A
	利用度	高		利用度	高
	1次評価	維持管理		1次評価	維持管理
	重要性	85:代替施設なし		重要性	85:代替施設なし
	見通し	-5:現状維持		見通し	-5:現状維持
	2次評価	I(60点以上)		2次評価	I(60点以上)
総合判定	維持管理 (建替までの間)	優先度3	総合判定	維持管理 (建替までの間)	優先度3
評価結果	法令により設置が義務付けられている施設であり、重要度が高いが、現庁舎は経年劣化、狭隘化により継続使用不可、建替による施設の維持が必要		評価結果	県北地区のドライバーの利便を図る目的で設置している施設であるが、一部設備が久慈警察署と共用しているため、警察署庁舎と一体的整備が合理的	

2 対応方針

現庁舎は、老朽化、敷地狭隘、位置不適(浸水区域内)につき、別地に移転し建替整備を進めており、移転後、現庁舎は解体撤去の上、敷地の転用又は処分等を検討する。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

- ① 建替時におけるライフサイクルコストの縮減
建替の際には、省エネルギー対策や日常的な点検・小修繕等の維持管理の容易性に配慮し、構造や仕様、高耐久性材料等を採用することによりライフサイクルコストの縮減に努める。
- ② 環境負荷低減への取組
立地条件等を踏まえた再生可能エネルギーの導入の検討や環境に配慮した材料選定、施設の長寿命化による建設廃棄物の発生抑制など、環境負荷の低減に取り組む。

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕(現庁舎)		日常点検による維持修繕(新庁舎)		
計画更新	移転新築 143	移転新築 2,607	現庁舎解体 159		

(3) 概算経費

2,909百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 -	国庫 378百万円
計画更新費 2,909百万円	県債 1,916百万円
	一般財源 615百万円

二戸警察署庁舎個別施設計画

番 号	一般庁舎 026	策定年月	令和2年11月	最終更新	令和2年11月
施設名	二戸警察署庁舎			財産区分	行政財産
所在地	二戸市金田一字上田面302番地6			敷地面積	4,784.02 m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	工業地域
設置目的・概況等	<p>【設置目的】 警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例に基づき設置されている二戸警察署の管轄区域につき、警察法第2条に定める警察の責務の遂行及び岩手県公安委員会、岩手県警察本部長並びに警察署長の権限に属する事務を適正に執行するため必要となる行政庁舎</p> <p>【管轄区域】 二戸市、九戸郡のうち軽米町、九戸村及び二戸郡</p> <p>【施設概況】 2008年(H20)、民間から買入取得した敷地内に建築したRC造地上5階建の庁舎に留置場、道場施設のほか通信設備等、警察用特殊設備を完備、付属施設として車庫(S2)、ゴミ置場(RC1)を設置</p>				

1 施設内建物の概要

番号:名称	庁舎	
構造	RC造	
階数	地上5階 地下 階	
竣工年	西暦2010年12月	
建築：延床	730.16 m ²	2,226.93 m ²
主な設備	<p>受変電設備 発電設備 警報設備 構内交換設備 その他の設備</p> <p>屋内型キュービクル式 屋内型、低圧、ディーゼル式、建築基準法・消防法に基づく防災負荷 自動火災報知設備:P型 非常警報設備:非常放送、非常ベル VoIP システム 電気時計設備、拡声装置、映像・音響装置、誘導支援装置、テレビ共同受信設備、監視カメラ設備、防犯・入退室管理設備</p> <p>EV設備 冷暖房設備 熱源設備 空調・放熱機器 換気設備 自動制御設備 給水設備 排水設備 給湯設備 ガス設備 消火設備</p> <p>常用1基 局所冷房方式(エアコン) 氷蓄熱(LPG) 放熱機:パネルヒーター、空調機:パッケージ形 一種換気(熱交換形換気扇) 中央式監視制御 加圧送水方式:公共水道 自動給水ポンプユニット FRP製受水槽 公共下水道 中央式(機械室に貯湯式電気温水器、ガス湯沸器、給湯用循環ポンプを設置) 液化天然ガス 粉末消火</p>	
状況利用	<p>管内情勢 職員数 交番等設置数 配備車両台数</p> <p>面積:1,100.29 km²(R2.4.1) 人口:53,476 人(R2.1.1) 52 人 交番2所、駐在所9所 14 台</p>	
老朽化の状況	劣化度調査	H30.6 B判定1箇所、C判定箇所なし
	定期点検	H30.6
	修繕工事履歴	
	特記	
優先度	建物性能	高
	劣化:年数	A A
	利用度	高
	1次評価	維持管理
	重要性	85:代替施設なし
	見通し	-5:現状維持
	2次評価	I (60点以上)
総合判定	維持管理	優先度3
評価結果	法令により設置が義務付けられている施設であり、重要度が高く、建物性能も高いことから、経年劣化の状態等を確認しながら、効率的、効果的な予防保全を図り長寿命化を推進する。	

2 対応方針

管内の治安活動の拠点として、また、災害発生時の対策拠点として、将来にわたり、所定の機能・性能を維持していく。
建築後 10 年が経過しており、当面は、点検・検査及び小破修繕により保全を図る。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 対策の方向性

法定点検、日常点検等により、建物の状態を確認、把握し、定期更新時期には適切な更新等を確実に実施するなど予防保全型の保全を図り長寿命化を推進する。

(2) 対策の内容及び時期

(単位:百万円)

区 分	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)
一般修繕	日常点検による維持修繕 				
計画更新					

(3) 概算経費

—百万円	
【概算経費内訳】	【財源内訳】
一般修繕費 —	国庫
計画更新費 —	県債
	一般財源